



新 鹿 会 Vol.1

Shinrokukai Report

令和元年12月発行



[連絡先] 鹿沼市千渡 2332
[T E L] 0289-60-6760
[編集責任者] 湯沢ひでゆき
※こちらまでご意見・ご感想をお寄せ下さい。

平成から令和へと新しい時代を迎え、栃木県では50名の県議会議員が誕生し、新しい会派が立ち上がりました。

「会派」とは？

活動を共にする議員が
9つのグループで構成しています。



時下益々清祥の段、お慶び申し上げます。令和元年も残すところ数日となり、この間会派「新鹿会」として活動をして参りました。会派の掲げる5つのテーマを礎に皆様へ御周知していきたいと考えております。今後ともどうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

栃木県議会議員 新鹿会代表 湯沢ひでゆき

新 鹿 会 (しんろくかい) の主張

皆様の身近な生活の中にある理想や夢への想い、また困難や障害などの現実寄り添った活動を展開していきます。共に希望を持って前へ進みましょう。新鹿会は県民の皆様一人ひとりと政策を密接につなぐことを一歩ずつ確実に推進して参ります。

子育て環境の整備

- 子ども食堂など「地域が行う子育て」の支援に取り組み、安心して育てられる子どもの居場所づくりを支援します。
- ライフステージを通じた切れ目のない子ども支援・子育て支援の充実を図り、子育て不安の解消・負担軽減に取り組みます。
- 中高一貫校の設置を拡充し、創造性豊かな人材育成の促進に取り組んでいきます。



県民生活の安心安全なまちづくり

- 地域特性を考慮した河川氾濫・地すべり・土砂災害防止対策の実施や迅速な災害情報の周知の促進を図り、防災・減災対策を推進します。
- 犯罪防止や、高齢者を中心とした交通安全対策のより一層の促進を図り治安の向上、交通事故抑制対策を進めます。



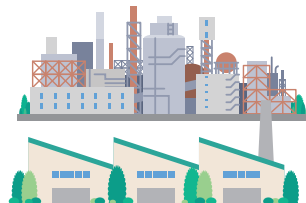
充実のシニア世代

- 世代や地域を超えた交流の場づくりや移送支援などの外出機会を創出する生きがいづくりの推進事業を支援します。
- 介護サービスの充実や介護予防事業の活性化に取り組み健康づくりの推進を図ります。
- 新たな人間関係を構築するネットワーク事業を創出しシニア世代の活躍の場づくりを図ります。



企業育成・雇用の確保

- 地域における経済の活性化を図るため、産業団地の早期完成や、宇都宮鹿沼バイパスの完成など道路整備に取り組むとともに、新たな成長産業の創出・育成に取り組んでいきます。



農林業の活性化

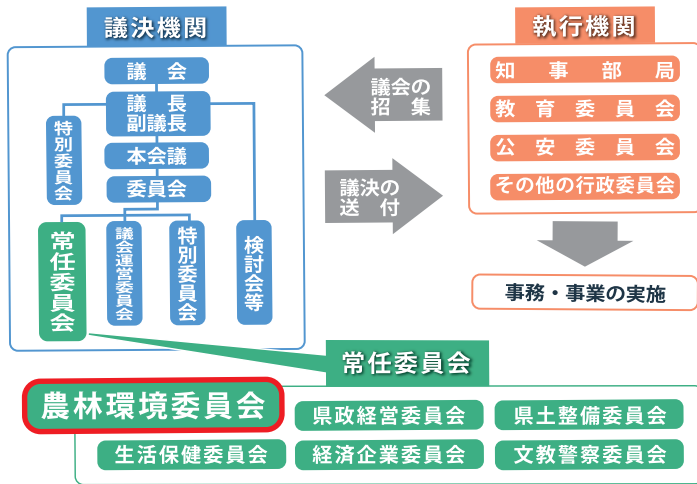
- 農産物の需要拡大や地場産材の活用の推進
- 農福連携の環境拡大
- 野生鳥獣被害対策の推進など、様々な課題が山積みです。現場との対話をベースに着実に改革改善を進め、農林業の活性化に繋がります。



次号からは、
この5つのテーマを
1つずつご紹介させて
いただきます。

県議会の役割

今回は初回ですので県議会の役割をご紹介します。



新鹿会としては農林環境委員会に属しています。

議決機関
とは？

私たちの栃木県を、より豊かで住みよい魅力ある郷土にしていけるために、選挙によって県民の代表を選びます。県民の願いを実現するために働いてもらう、という議会政治の方法がとられ県議会が設けられています。このような機関を議決機関といいます。

執行機関
とは？

県議会で決められたことは、知事部局、教育委員会、公安委員会などにおいて実行されます。このように、決められたことに基づき実際に仕事をする機関を、執行機関といいます。

常任委員会
とは？

常任委員会は、議案等を詳しく審査するために6つの委員会で成り立っています(左図参照)。委員会条例により、議員は少なくとも1つの常任委員となるものとしています。

農林環境委員会のこれまでの主な活動

① 8月8日

分散型エネルギーの導入状況や稲・麦・大豆等の種子生産などについて調査するため、真岡市及び高根沢町等において、関係者と意見交換や関係施設の視察を行いました。



② 9月30日

第358回通常議会での付託議案3件陳情2件の審査を行いました。また、栃木県気候変動影響調査等について執行部から報告を受け、質疑を行いました。



③ 11月23日・24日

栃木県農業大学校の農大祭を視察いたしました。



農林環境委員会の取り組み

現在「とちぎ元気発信プラン」※が実施されています。その内で農林環境委員会の取り組みをご報告いたします。

※「とちぎ元気発信プラン」とは…

今まで築き上げてきたとちぎの魅力・実力に更なる磨きをかけて国内外に発信していくための栃木県重点戦略です。



1 農林業成長の推進

▶ 農林業を支える人材の確保・育成や成長産業へ進化する農林業の確立を推進します。

主な取組

- ・就農相談会の開催や経営が安定するまでのフォローアップ等の実施
- ・林業就業者の労働環境の改善、スキルアップ研修等の実施、定住対策の推進
- ・栃木県独自の種子条例の制定
- ・県産農産物のブランド化と6次産業化への取組



2 持続可能なエネルギー社会実現プロジェクト

▶ 環境に配慮した新たなエネルギー需給体制の構築に向けて推進します。

主な取組

- ・内陸部に設置可能な発電所の設置促進
神戸製鋼所(真岡)に栃木県電力需要の6割に匹敵する発電設備を建設中です。
- ・コージェネレーションシステムの導入促進
- ・県内中小水力発電設備の新規高効率化の設置促進
- ・スマートコミュニティの構築促進*

*エリア単位でエネルギーを有効活用する次世代の社会システム

真岡発電所



中小水力発電施設



木質バイオマス発電所

